

令和7年度 医療事故調査・支援センター主催研修について

1. 研修名 「医療事故の再発防止に向けた提言」を活用した医療安全活動
～医療機関からの実践報告～
2. 目的 医療機関における提言活用状況を共有することにより、再発防止への取り組みや課題について考える機会とする。
3. 対象者 医療機関管理者及び医療安全担当者、及びそれに準ずる方
4. 日程・方法
 - 参集 令和7年10月4日(土) 13:00～16:00
会場：ステーションコンファレンス東京
申し込み期間：8月13日(水)～9月19日(金) ※定員になり次第締切り
 - オンデマンド配信
10月21日(火)～令和8年2月19日(木)
申し込み期間：8月13日(水)～2月10日(火)
5. 参加予定数 2,000人程度
6. 内容

開会の挨拶 門脇 孝 (日本医療安全調査機構 理事長)

座長：山口 徹 (日本医療安全調査機構 顧問)
宮田哲郎 (日本医療安全調査機構 常務理事)

【シンポジウム】

第1部 「医療事故調査報告」の類似事例の分析から再発防止策策定へ
木村壯介 (日本医療安全調査機構 常務理事)

第2部

講演1：薬剤によるアナフィラキシーへの対応
～提言書を活用した院内教育による緊急対応～
虎の門病院 医療安全部 部長 中島 勸 様

講演2：単科医療機関での頸部手術後の呼吸管理 ～気道閉塞評価と気道確保～
慶友整形外科病院 医療安全推進室 室長 前川明日香 様

講演3：「医療事故の再発防止に向けた提言」を現場で活かす
～気管切開チューブ逸脱・迷入防止に向けたICUの取り組み～
横浜市立脳卒中・神経脊椎センター ICU主任 本田 舞子 様

講演4：医療事故調査制度に望むこと 再発防止への思い
医療過誤原告の会 会長 宮脇 正和 様

第3部 全体討論
「医療事故の再発防止に向けた提言」を現場でどのように活用するか

閉会の挨拶 田原克志 (日本医療安全調査機構 専務理事)

7. 2024年度受講者実績

受講者：1,624名

<職種内訳>

医師 363名、歯科医師 6名、薬剤師 60名、看護師 979名、助産師 18名、診療放射線技師 41名、臨床検査技師 29名、臨床工学技士 15名、理学療法士 35名、作業療法士 11名、事務職 50名、その他 17名

<役職別内訳>

医療機関管理者（院長） 204名、医療安全管理部門 部長 129名、医療安全管理部門 部長以外の役職者 678名、医療安全管理部門 役職者以外 263名、医療安全管理部門以外 254名、その他 96名